

# 第55期 報告書

平成22年3月21日から平成23年3月20日まで

*Let's enjoy  
the future!*



エムケー精工株式会社



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。なお、本年東北地方をはじめ各地で発生しました地震により、被災されました株主の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

ここに、当社第55期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出関連を初めとして緩やかな回復傾向となりましたが、デフレや円高が続く中で雇用情勢や所得環境が厳しさを増しており、先行きの不透明感が拭えない状況にありました。

当社グループが関係する業界につきましては、オート機器の主要取引先である石油業界で設備投資を控える傾向が続いており、情報機器の分野では既存ルートでの販売が低迷するなど、極めて厳しい状況のまま推移いたしました。

こうした状況にあって当社グループは、販売戦略を重視した製品開発、情報機器の新規販売ルートの開拓などにより、売上と利益の確保に努めてまいりましたが、期を通してオート機器および情報機器の分野での販売が振るわず、損失を計上いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度比6.1%減の167億6千1百万円、経常損失は5億5千9百万円となりました。なお、たな卸資産処分損、災害による損失等により特別損失を計上し、当期純損失は7億2千1百万円となりました。

今後の経済見通しは、先般の震災の影響は甚大であり、原油・原材料の高騰や内外の政情不安なども重なって、一時的な落ち込みは避けられないものと懸念されます。

こうした状況にあって当社グループは、景気に左右されることのない強靱な体質とするため、各事業部門に開発、生産、営業、メンテナンスの機能を集約した事業本部制に改めることとし、平成23年3月21日開始の第56期事業年度より実施いたしております。

情報機器部門では、公共の道路関連施設等へ当社表示機を設置する事例が増えてきており、官公庁向けの事業に本格的に取り組む体制を整備してまいります。また、当社グループは、成長が続くアジアへの進出が課題の一つと考えており、アジア市場における業績拡大を果たせるよう体制の整備に努めてまいります。

なお、先般の震災では、東北地方の取引先をはじめ当社グループの仙台支店でも被害がありました。当社仙台支店はもちろん、被災された取引先が一日も早く復興するよう努めると共に、この復興をバネに更なる事業の進展を期して邁進してまいります。

最後に、当期は誠に遺憾ながら無配とさせていただきましたが、当社グループ一丸となって今後の業績回復に努めてまいりますので、何卒、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月  
代表取締役社長

丸山永樹

## オート機器事業

オート機器事業は、洗車機をはじめとする自動車関連機器の製造・販売が主力となります。主要取引先であるSS業界においては、設備投資を抑制または凍結する傾向が続いており、また前連結会計年度のような公的資金による助成がなかったこともあり、極めて厳しい市場環境となりました。特に、主力の門型洗車機の販売が低迷した結果、オート機器事業全体の売上高は、前連結会計年度比11.6%減の81億3千1百万円となりました。



門型洗車機



道路用表示システム

## 情報機器事業

情報機器事業は、主にLEDを使用した各種表示機の製造・販売が主力となります。大型フルカラーLED表示システムは、アミューズメント市場が縮小したため他用途への拡販に努めたものの昨年実績を下回る結果となりました。また、新規参入した道路情報表示関連の機器については、着実に実績を上げておりますが、業績に反映できるのは次年度以降になります。この結果、情報機器事業全体の売上高は、前連結会計年度比4.4%減の24億8千5百万円となりました。

## 生活機器事業

生活機器事業は、農産物貯蔵庫等の農家向け商材や、調理家電、収納庫等の一般家庭向け商材の製造・販売が主力となります。一般家庭向け商材につきましては、消費の低迷と他社との競合から伸び悩んだものの、農家向け商材の農産物低温貯蔵庫につきましては、モデルチェンジが功を奏し、また猛暑の影響もあり好調に推移いたしました。この結果、生活機器事業全体の売上高は、前連結会計年度比4.4%増の46億2千3百万円となりました。



農産物低温貯蔵庫

## 業績の推移（連結）

区 分	第52期 平成19年度	第53期 平成20年度	第54期 平成21年度	第55期 (当連結会計年度) 平成22年度
売上高(千円)	19,819,430	18,890,772	17,858,870	16,761,971
経常利益又は経常損失(△)(千円)	69,139	53,417	226,074	△559,206
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	93,730	△801,010	65,687	△721,512
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	6円33銭	△55円22銭	4円53銭	△49円75銭
総資産(千円)	23,070,336	22,391,504	21,908,176	20,710,641
純資産(千円)	8,859,127	7,673,689	7,547,482	6,527,448

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	
	当期 (平成23年3月20日現在)	前期 (平成22年3月20日現在)
(資産の部)		
流動資産	10,478,950	11,220,658
固定資産	10,231,691	10,686,427
有形固定資産	6,745,170	6,941,929
無形固定資産	1,818,559	1,915,913
投資その他の資産	1,667,961	1,828,584
繰延資産	—	1,090
資産合計	20,710,641	21,908,176
(負債の部)		
流動負債	11,540,732	9,890,690
固定負債	2,642,460	4,470,003
負債合計	14,183,192	14,360,694
(純資産の部)		
株主資本	7,154,435	7,948,523
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	1,339,861	2,133,884
自己株式	△510,121	△510,057
評価・換算差額等	△626,986	△401,040
その他有価証券評価差額金	△271,694	△162,594
繰延ヘッジ損益	△2,245	508
為替換算調整勘定	△353,046	△238,954
純資産合計	6,527,448	7,547,482
負債純資産合計	20,710,641	21,908,176

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	
	当期 平成22年3月21日から 平成23年3月20日まで	前期 平成21年3月21日から 平成22年3月20日まで
売上高	16,761,971	17,858,870
売上原価	12,234,235	12,381,633
売上総利益	4,527,736	5,477,237
販売費及び一般管理費	5,016,711	5,162,686
営業利益又は営業損失(△)	△488,974	314,550
営業外収益	142,795	130,845
営業外費用	213,026	219,322
経常利益又は経常損失(△)	△559,206	226,074
特別利益	25,130	39,242
特別損失	109,748	100,397
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△643,823	164,918
法人税、住民税及び事業税	52,751	66,031
法人税等調整額	24,936	33,199
当期純利益又は当期純損失(△)	△721,512	65,687

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	
	当期 平成22年3月21日から 平成23年3月20日まで	前期 平成21年3月21日から 平成22年3月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	511,921	499,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212,178	△477,347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,599	△31,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,274	△968
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37,131	△9,768
現金及び現金同等物の期首残高	323,614	333,383
現金及び現金同等物の期末残高	286,483	323,614

## 連結株主資本等変動計算書

当期(平成22年3月21日から平成23年3月20日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成22年3月20日残高	3,373,552	2,951,143	2,133,884	△510,057	7,948,523	△162,594	508	△238,954	△401,040	7,547,482
当連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△72,511		△72,511					△72,511
当期純損失			△721,512		△721,512					△721,512
自己株式の取得				△64	△64					△64
株主資本以外の項目の当連結会計年度中の変動額(純額)						△109,099	△2,753	△114,091	△225,945	△225,945
当連結会計年度中の変動額合計	—	—	△794,023	△64	△794,087	△109,099	△2,753	△114,091	△225,945	△1,020,033
平成23年3月20日残高	3,373,552	2,951,143	1,339,861	△510,121	7,154,435	△271,694	△2,245	△353,046	△626,986	6,527,448

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		(平成23年3月20日現在)	(平成22年3月20日現在)
(資産の部)			
流動資産		10,295,414	10,878,650
固定資産		9,807,018	10,149,451
有形固定資産		5,214,295	5,372,418
無形固定資産		426,951	404,285
投資その他の資産		4,165,771	4,372,747
資産合計		20,102,433	21,028,102
(負債の部)			
流動負債		11,025,472	9,439,385
固定負債		2,433,059	4,068,799
負債合計		13,458,531	13,508,185
(純資産の部)			
株主資本		6,913,726	7,678,069
資本金		3,373,552	3,373,552
資本剰余金		2,951,143	2,951,143
利益剰余金		1,099,152	1,863,430
自己株式		△510,121	△510,057
評価・換算差額等		△269,824	△158,151
その他有価証券評価差額金		△267,579	△158,660
繰延ヘッジ損益		△2,245	508
純資産合計		6,643,901	7,519,917
負債純資産合計		20,102,433	21,028,102

## 損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		平成22年3月21日から平成23年3月20日まで	平成21年3月21日から平成22年3月20日まで
売上高		14,911,502	15,989,637
売上原価		10,978,828	11,216,076
売上総利益		3,932,673	4,773,560
販売費及び一般管理費		4,502,695	4,642,627
営業利益又は営業損失(△)		△570,022	130,933
営業外収益		222,875	272,260
営業外費用		198,162	202,078
経常利益又は経常損失(△)		△545,309	201,115
特別利益		16,366	9,668
特別損失		108,128	95,211
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)		△637,071	115,571
法人税、住民税及び事業税		32,997	32,919
法人税等調整額		21,698	31,120
当期純利益又は当期純損失(△)		△691,767	51,531

## 株主資本等変動計算書

当期(平成22年3月21日から平成23年3月20日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		評価・換算差額等合計
		資本準備金	その他資本剰余金		別途積立金	圧縮記帳積立金	繰越利益剰余金						
平成22年3月20日残高	3,373,552	655,289	2,295,853	302,000	1,100,000	222,128	239,302	△510,057	7,678,069	△158,660	508	△158,151	7,519,917
当事業年度中の変動額													
圧縮記帳積立金の取崩し						△4,849	4,849						-
剰余金の配当							△72,511		△72,511				△72,511
当期純損失							△691,767		△691,767				△691,767
自己株式の取得								△64	△64				△64
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)										△108,918	△2,753	△111,672	△111,672
当事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	△4,849	△759,428	△64	△764,342	△108,918	△2,753	△111,672	△876,015
平成23年3月20日残高	3,373,552	655,289	2,295,853	302,000	1,100,000	217,278	△520,126	△510,121	6,913,726	△267,579	△2,245	△269,824	6,643,901

## 1. 改正省エネ法、更なる省エネに向けて

平成22年10月、省エネ法が改正されたことに伴い、当社は計画的なエネルギー管理が求められる「特定事業者」の指定を受けました。この指定を受け、当社では、社内に省エネルギー推進委員会を設置し、全社的な省エネ対策に取り組んでまいります。

## 2. 事業本部制を導入、強靱な経営体質を目指して

平成23年3月、厳しい経営環境が続く中、景気に左右されることのない強靱な体質とするため、各事業部門に開発、生産、営業、メンテナンスの機能を集約した事業本部制を導入しました。これにより、各事業部門における採算管理の徹底、資源配分の最適化および意思決定の迅速化をはかってまいります。

## 3. 東日本大震災の影響

平成23年3月に発生した震災により、当社グループの仙台支店でも建物が損傷する被害がありましたが、幸い人的被害はなく4月には営業を再開いたしております。なお、東北地方をはじめ多数の取引先で被災されており、一日も早く復興されるよう可能な限りの協力体制を整えてきております。

## 4. 新製品のご紹介

### [オート機器]

#### ■門型洗車機「G-FOUR ジーフォー」

より高度な洗浄性能、より精密な車形認識、より確かな収益パフォーマンスを搭載した、フルサービス向けの最上級洗車機を発売いたしました。強固な汚れを除去できる水アカ取りシステム「プロッシュ」や手仕上げによる最上級コート「クリスタルコートNEO」など、多彩なメニュー展開が可能です。



### [情報機器]

#### ■道路情報表示装置「NHL2型」

国土交通省発注の道路情報表示装置を開発し、元請企業と協力して高規格道路に設置いたしました。国土交通省の道路情報表示装置は全部で7機種ありますが、この度設置した機種はLEDユニットを216枚使用する中型機種です。当社では、他の機種の開発も済ませており、要請があれば即座に対応できる体制を整えております。



### [生活機器]

#### ■低温貯蔵庫「味の新鮮蔵」シリーズ

手元・足元や庫内を明るく照らすLED照明を標準装備した低温貯蔵庫「味の新鮮蔵シリーズ」を発売いたしました。玄米の食味や農産物の鮮度を守るための低温貯蔵庫を収納量、用途等お客様のニーズに合わせて豊富なラインナップの中からお選びいただけます。



■発行可能株式総数 ..... 54,930,000株

■発行済株式総数 ..... 15,595,050株

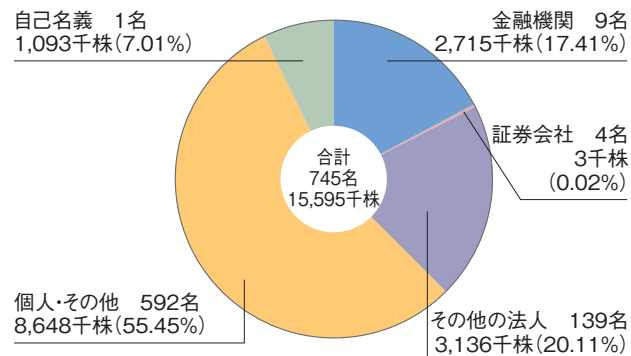
■株主数 ..... 745名

## ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
丸山永樹	1,443,026株	9.25%
東京中小企業投資育成株式会社	1,170,000	7.50
大久保文夫	944,048	6.05
株式会社八十二銀行	721,000	4.62
株式会社みずほ銀行	721,000	4.62
丸山繁夫	676,012	4.33
三井住友海上火災保険株式会社	580,660	3.72
近藤繁篤	501,700	3.21
エムケー精工従業員持株会	456,632	2.92
竹下昇	455,700	2.92

(注) 当社は、平成23年3月20日現在、自己株式を1,093,042株保有しており、上記大株主から除外しております。

## ■所有者別分布状況



## ■会社概要

商号……エムケー精工株式会社  
(MK SEIKO CO., LTD.)

本社……長野県千曲市大字雨宮1825番地

東京本社……東京都葛飾区青戸8丁目3番5号  
MK東京ビル2F

設立……昭和31年12月17日

事業内容……オート機器、情報機器、生活機器  
の製造販売

資本金……3,373,552,500円

主要な事業所……本社・工場 長野県千曲市  
東京本社 東京都葛飾区  
信濃町工場 長野県上水内郡信濃町  
支店 札幌・仙台・東京・東関東・北関東  
南関東・静岡・新潟・長野・名古屋  
金沢・大阪・広島・福岡

従業員数……819名

## ■役員 (平成23年3月20日現在)

代表取締役社長 ..... 丸山永樹  
 常務取締役 ..... 竹田唱一  
 常務取締役 ..... 倉崎一由  
 常務取締役 ..... 小林文彦  
 取締役 ..... 小林信重  
 取締役 ..... 早川和弘  
 取締役 ..... 竹内賢治  
 取締役 ..... 丸山将一  
 常勤監査役 ..... 大久保文夫  
 監査役 ..... 平栗正之  
 監査役 ..... 三浦伸昭  
 監査役 ..... 青木元吉

※監査役の平栗正之氏、三浦伸昭氏および青木元吉氏は、社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	3月21日から翌年3月20日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月20日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月20日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所 公告方法	大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード) 電子公告により、当社ホームページ( <a href="http://www.mkseiko.co.jp">http://www.mkseiko.co.jp</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
1単元の株式数	100株

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、配当金振込指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- (2) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待制度のご案内

### ①株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンドンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券(5,800円相当)を贈呈いたします。

### ②発行基準

宿泊優待券は、平成23年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株式数	ご優待券
1,000株～1,999株	2枚
2,000株～3,999株	3枚
4,000株～9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

### ③発行日

定時株主総会后、決議通知書に同封いたします。

### ④有効期限

平成24年6月30日まで。

## HP紹介



当社のホームページでは、会社情報をはじめとするさまざまな情報をご紹介します。アドレスは以下のとおりです。

<http://www.mkseiko.co.jp>



## エムケー精工株式会社

本社／長野県千曲市大字雨宮1825番地 〒387-8603

TEL.026-272-0601(代) FAX.026-272-4912

<http://www.mkseiko.co.jp>

E-mail/soumu@hq.mkseiko.co.jp

